

## 1. 作業時期と圃場条件

### 作業時期

1回目の除草作業は苗が活着後、早めに行ってください。  
雑草の成長具合を見て、2回目以降の作業を行ってください。

#### ●目安時期

1回目：田植え後7～10日

2回目：1回目後7～10日

必要に応じて、3回目以降を7～10日後目安に行ってください。

雑草が成長しすぎてからでは十分な除草効果が得られない場合があります。

### 圃場条件

本製品が使用できる耕盤の深さは30cmまでです。

30cmを超えて沈み込むような圃場では走行できず、破損の原因となります。

水深は3～5cmにしてください。

浅すぎたり深すぎたりすると、十分な除草効果が得られない場合があります。

### 取扱いのポイント

● 直播圃場のような硬い圃場や、土が露出し硬くなっている圃場では作業を行わないでください。

※破損の原因となります。

● 水深が深すぎる圃場では作業を行わないでください。

※水流による 苗の倒伏や欠株が発生する恐れがあります。

## 2. 停止スイッチの確認

### △ 注意



指示

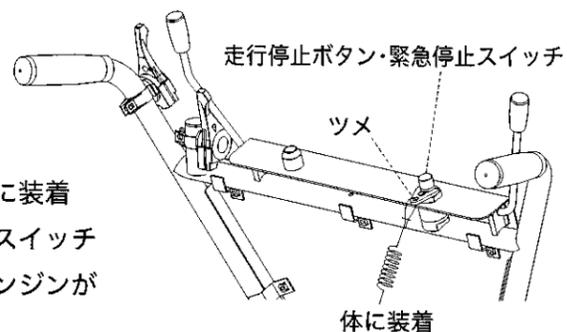
作業中すみやかに作業を中止する場合に備え、  
停止スイッチの位置を確認してください。

※事故、けがの原因となります。



指示

緊急停止スイッチから繋がるコードは必ず体に装着  
してください。緊急時はコードを引っ張り、スイッチ  
からコード先端のツメ部分が外れると走行エンジンが  
停まります。



## 3. 各部の点検

### △ 注意



指示

下記項目について、各部の点検を作業前には必ず行ってください。

※機械の点検、整備が不十分なまま運転を行うと、事故やけがの原因となります。



指示

エンジンを止め、冷えてから行ってください。

※事故、火傷の原因となります。

|                          | 点検箇所  | 処置方法             |
|--------------------------|---|------------------|
| エンジン<br>(走行・除草)          | マフラ排気口のつまり                                      | お買い求め先に相談してください。 |
|                          | 燃料タンクおよび燃料ホースの破損                                | お買い求め先に相談してください。 |
|                          | テールパイプの脱落                                       | 装着               |
|                          | 草やワラ等の侵入  | 清掃               |
| スロットルレバー<br>ワイヤー         | スロットルレバーとワイヤーの動きが<br>連動しているか。<br>ワイヤーが断線していないか。 | 調整、ワイヤーの交換。      |
| 減速機<br>(走行・除草)           | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
|                          | オイルのもれ  | お買い求め先に相談してください。 |
| 前輪<br>後輪<br>補助車輪<br>ウエイト | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
|                          | 取り付けピンの脱落                                       | 装着               |
|                          | ゆがみ   | 交換               |
|                          | 破損  | 交換               |
| ハンドル                     | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
| レバー類                     | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
|                          | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
| カバー類                     | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
|                          | 破損  | 交換               |
| シート                      | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
| 除草ローター                   | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
|                          | 取り付けピンの脱落                                       | 装着               |
|                          | ゆがみ、破損  | 交換               |
| 分草板                      | 取り付けボルトのゆるみ                                     | 増し締め             |
|                          | 破損  | 交換               |

## 4. 燃料の補給

### ⚠ 危険



火気厳禁

燃料の補給は、火気のない場所で行ってください。

※火災の原因となります。



エンジン停止

燃料の補給は、エンジンを止め、冷えてから行ってください。

※火災の原因となります。

### ⚠ 警告



指示

燃料給油後は、タンクキャップから燃料もれの無いことを確認してください。

また、燃料をこぼした時は、すみやかに拭き取ってください。

※火災の原因となります。

- 燃料は自動車用ガソリンと、2サイクル専用オイルの混合燃料を使用します。
- 燃料について詳細は、エンジンの取扱説明書をお読みください。

### 取扱いのポイント

- ガソリンのみで運転しないでください。 ※エンジン焼付きの原因となります。

# 作業方法

## 1. エンジンの始動

### ⚠ 警告



禁止

エンジンの始動は、ガソリンや揮発性のある薬品類等が近くにあるところでは行わないでください。

※火災の原因となります。



指示

エンジンの始動は、燃料補給場所から 3m 以上離れた場所で行ってください。

※こぼれた混合燃料へ引火し、火災の原因となります。



排ガス注意

排気ガスは人体に有毒ですから吸わないでください。また、顔を近づけないでください。

※健康被害を引き起こす恐れがあります。



禁止

アイドリング中および停止直後のエンジンは高温のため、枯草など可燃物の近くに置かないでください。

※火災の原因となります。



指示

草やワラ等がエンジン内部へ入り込んだ時は、すみやかにエンジンを停止し、エンジンが冷えた後に取り除いてください。

※火災の原因となります。

### ⚠ 注意



さわるな

運転中は点火プラグや、プラグコードに触れないでください。

※感電の恐れがあります。



さわるな

火傷防止の為、運転中及び停止直後のエンジンのシリンダ、マフラや、減速機など高温部に触れないでください。

※火傷の恐れがあります。



指示

エンジンの始動は安定した場所で行ってください。

※不安定な場所で始動すると、転倒の原因となり、危険です。



指示

暖機運転中等、運転時は機械から離れずに、他人が近づかないようにしてください。

※事故、けがの原因となります。



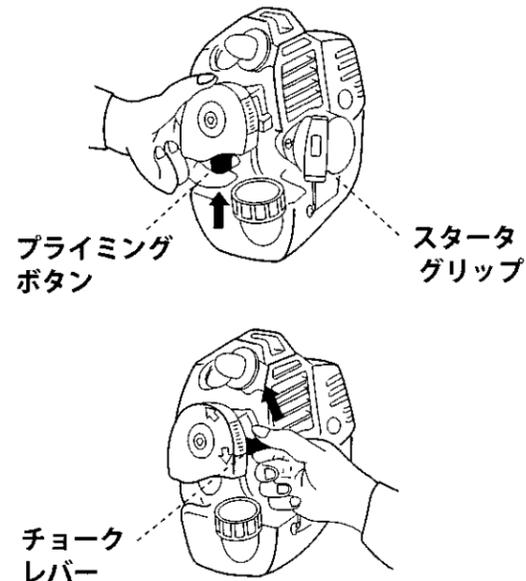
禁止

エンジンをクラッチケースから外して始動しないでください。

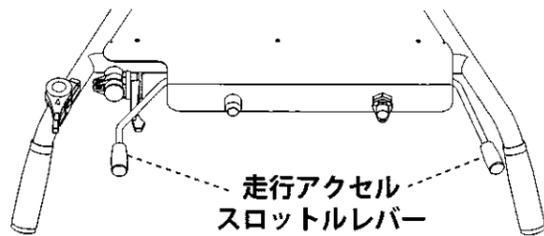
※クラッチが飛び出し、危険です。

- 次頁より、エンジンの始動と停止について記載していますが、必ず、エンジンの取扱説明書も合わせてお読みください。

※イラストは一般的なエンジンを表していますので、実際と異なる場合があります。また、走行エンジン、除草エンジン共通の始動方法です。



- ① プライミングボタンを指が当たるまで繰り返し押し続けてください。(10回以上) プライミングボタンを押すと、燃料を汲み上げ、始動を容易にします。
- ② チョークレバーを全閉位置 (I マーク側) にしてください。燃料が残っていて、且つエンジンが暖まっている場合は、チョークレバーを全開位置 (II マーク) にしてください。
- ③ アクセル (スロットルレバー) を『遅』の位置 (アイドリング位置) にしてください。
- ④ スタータグリップを軽く引き、重くなった位置から強く勢いよく引いてください。(その際ロープを最後まで引かないでください。)
- ⑤ 始動後、エンジンの調子を見ながら徐々にチョークレバーを全開位置 (II マーク側) にしてください。  
爆発音のみで始動しない場合は、チョークレバーを全開位置にして再びスタータグリップを勢いよく引っぱってください。



※ 本エンジンはプライミングボタン操作を行った時、余分な燃料はタンクに戻る構造になっています。プライミングボタン操作を多く行っても吸い込みすぎ状態になりません。むしろ少ない場合に始動不良になることがありますので、十分に行ってください。

⑥ エンジンが始動したら、そのまま1～2分間暖機運転してください。

### ⚠ 注意

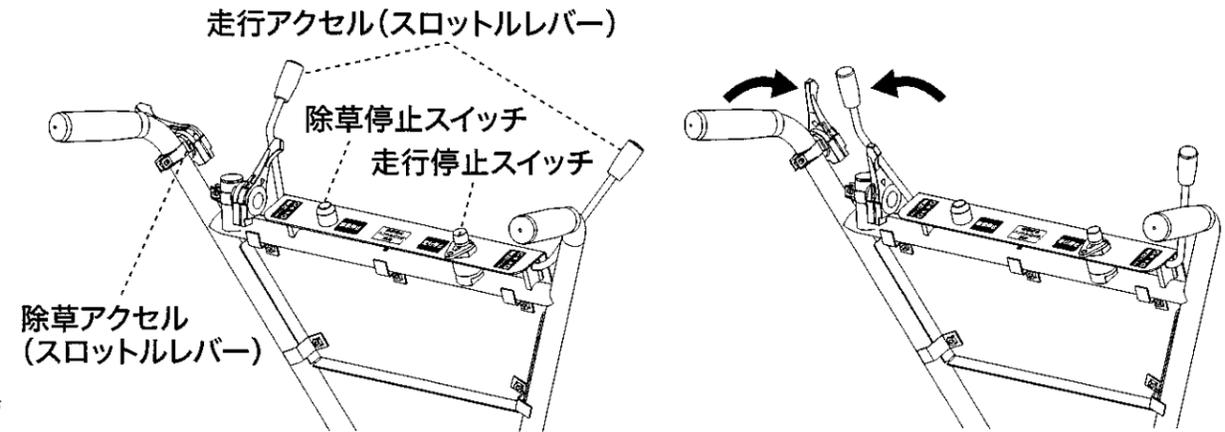


アクセルが『遅』の位置の時、前輪及び除草ローターが停止することを確かめてください。停止しない時は『エンジンの取扱説明書』のアイドリング調整の項目を読んで調整してください。



ここで実作業に入る前に、次頁『2.エンジンの停止』の項に従って、停止スイッチを押してエンジンが停止すること、緊急停止スイッチに繋がるコードを引きスイッチからコード先端のツメ部分を外し、エンジンが停止することを確認して、停止および緊急停止の練習をしてください。

## 2. エンジンの停止



- ① アクセル(スロットルレバー)を『遅』の位置(アイドリング位置)にします。
- ② エンジンが停止するまで、停止スイッチを押し続けます。

### ⚠ 注意



緊急時、走行エンジンは、緊急停止スイッチに繋がるコードを引っ張り、スイッチからコード先端のツメ部分を外して停止します。

指示

除草エンジンは、ただちに停止スイッチを押し続けてください。

### 取扱いのポイント

- 緊急時以外は、アクセル(スロットルレバー)を『遅』の位置(アイドリング位置)に戻してから、エンジンを停止してください。

※高速回転中に急に停止させると、エンジンに負荷がかかり、故障の原因になります。

### 3. 積み降ろし及び運搬

#### 警告

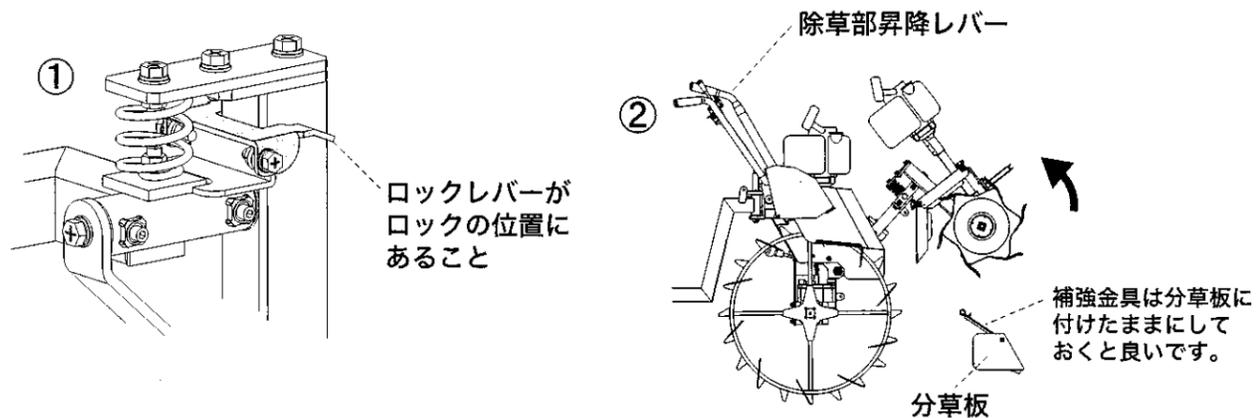
-  **禁止**  
機械に乗ったまま積み降ろしをしないでください。  
※転倒の恐れがあり、事故、重傷の原因となります。
-  **指示**  
運搬用の車は機械の大きさに応じた車を使用してください。
-  **指示**  
平坦な場所を選び、運搬用の車のエンジンを止め、サイドブレーキを引いて車輪止めを使用して積み降ろししてください。また、積み下ろす機械の周囲に人を近づけさせないでください。  
※事故、重傷の原因となります。
-  **指示**  
機械を前後に分割し、除草ローターに補助車輪を取付けて積み降ろししてください。
-  **指示**  
ブリッジを荷台にかける時は、段差がなく平行になるようにしてください。

#### 取扱いのポイント

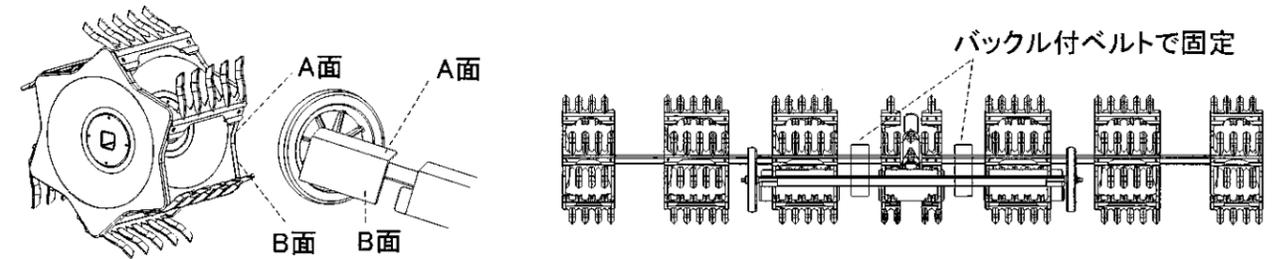
ブリッジはフックが付いていて、十分な強度、幅、長さがあるものを使用してください。

- 長さ：車の荷台高さの4倍以上
- 幅：180mm以上
- 数量：2枚
- 強度：1枚の強度が90kg以上の質量に耐えるもの
- 滑り止めのあるもの
- 板に隙間が無いもの（補助車輪が引っ掛からないもの）

- ① 除草部ローリングのロックレバーがロックの位置にあることを確認してください。
- ② 分草板と補強金具を外し、除草部昇降レバーを引いて除草部を上昇させます。

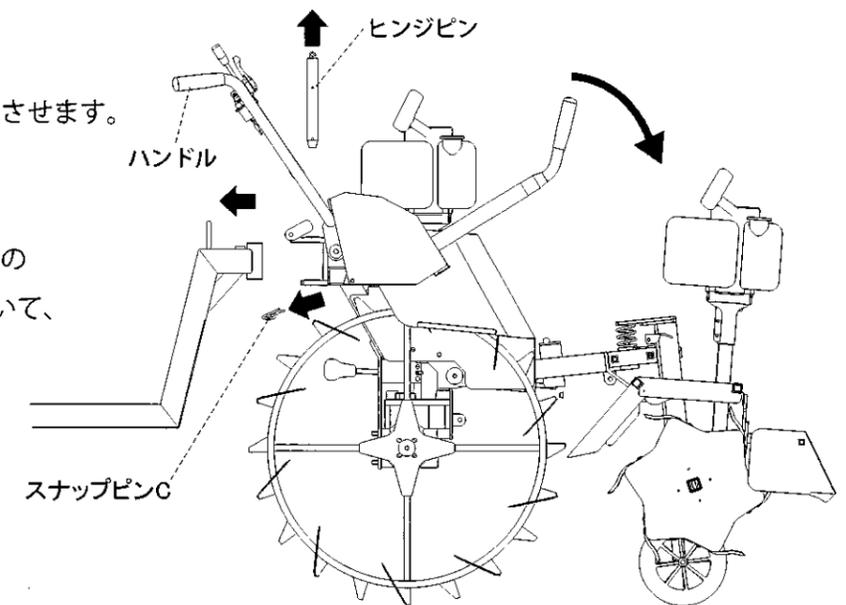


- ③ 除草ローターに補助車輪を取付けます。バックル付きベルトで2か所固定します。  
必要に応じて、ローターカバーとローター軸ジョイントから外側を取り外してください。

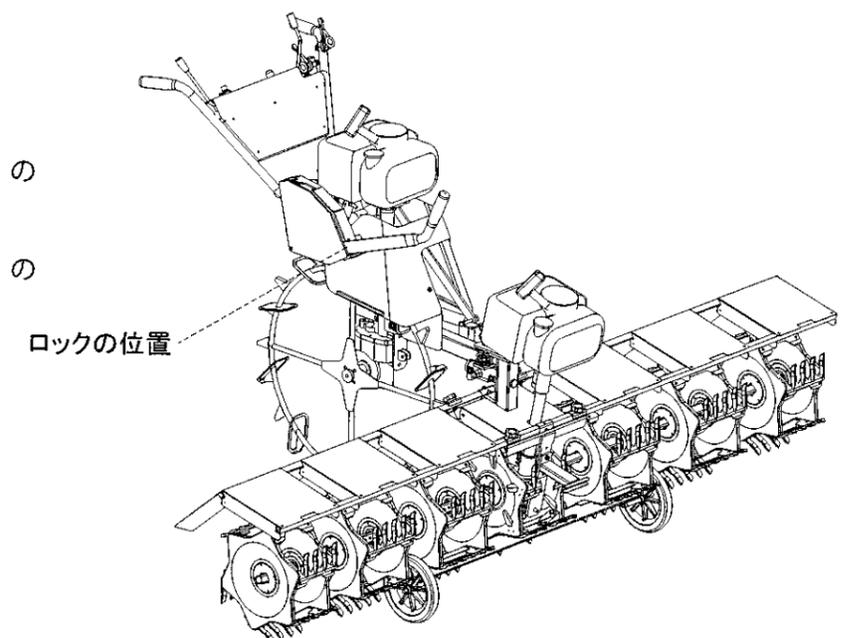


A面とA面 B面とB面を合わせる

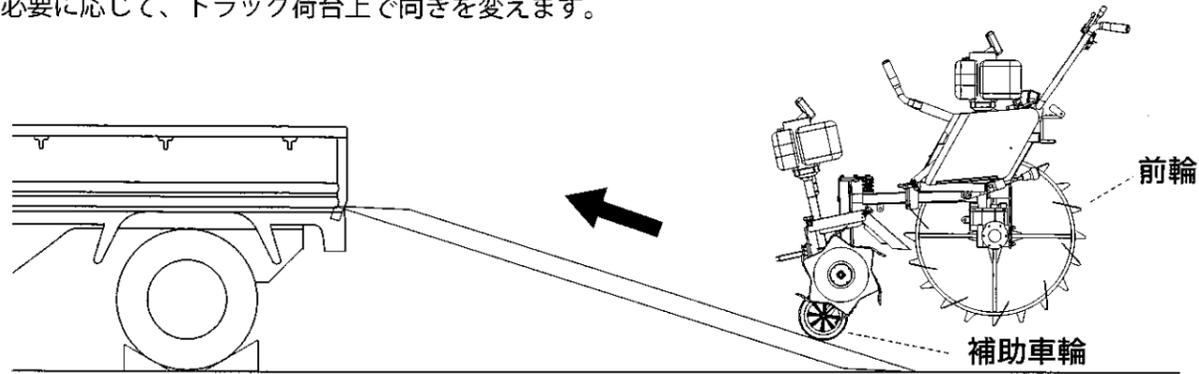
- ④ 除草部昇降レバーで除草部を下降させます。  
(レバーのロックはかけません)
- ⑤ ハンドルを持ったままハンドル下のスナップピンCとヒンジピンを抜いて、機械を前後に分割します。



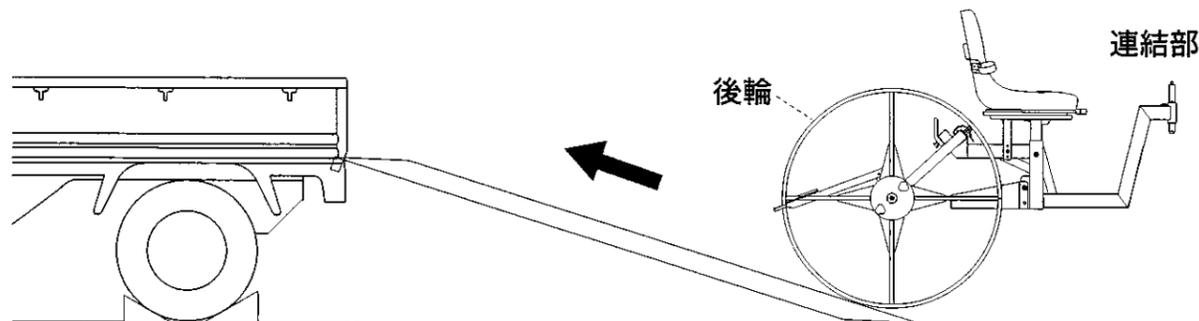
- ⑥ 除草部昇降レバーを『ロック』の位置にします。  
ハンドルを下げると『ロック』の位置に入ります。



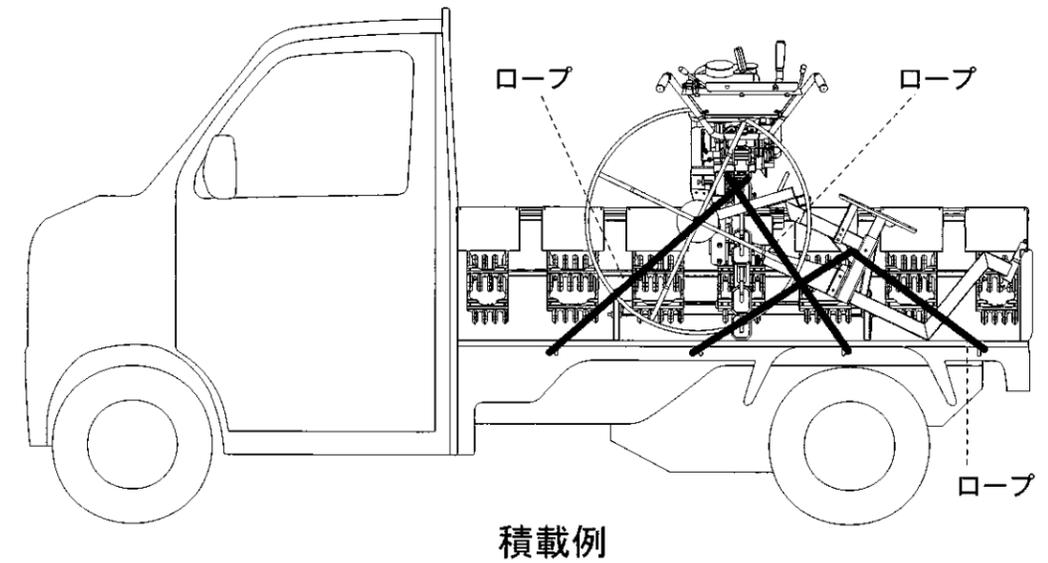
- ⑦ ブリッジをトラックに確実に掛け、補助車輪の幅に合わせて調整します。
- ⑧ ハンドルを持ち前輪を浮かせ、補助車輪を使用して機械の前側をトラックに積み込みます。  
必要に応じて、トラック荷台上で向きを変えます。



- ⑨ 機械後側の（前側との）連結部を持ち、後輪を前方にしてトラックに積み込みます。  
この時、ブリッジの幅を後輪の幅に合わせて調整しておきます。



- ⑩ ロープ等でトラックの荷台にしっかり固定してください。  
取り外した分草板とブリッジも荷台に収納します。



**取扱いのポイント**

ロープ等は機械のフレーム部にかけてください。除草ローター部及びエンジンから減速機の間には絶対にかけてください。 ※破損、故障の原因になります。

**⚠ 注意**

**指示** 機械運搬中は急発進、急ブレーキ、急ハンドル等はせず、運転に注意してください。  
※機械が動き、破損、故障の原因になります。

## 4. 圃場の出入り

### 警告



機械に乗ったまま圃場へ出入りしないでください。  
※転倒の恐れがあり、事故、重傷の原因となります。



圃場間を公道で移動する場合は、必ず運搬用の車で輸送してください。  
※公道の走行は法令違反となります。



圃場との高低差が大きい場合は必ずブリッジを使用してください。  
※転倒の恐れがあり、事故、重傷の原因となります。

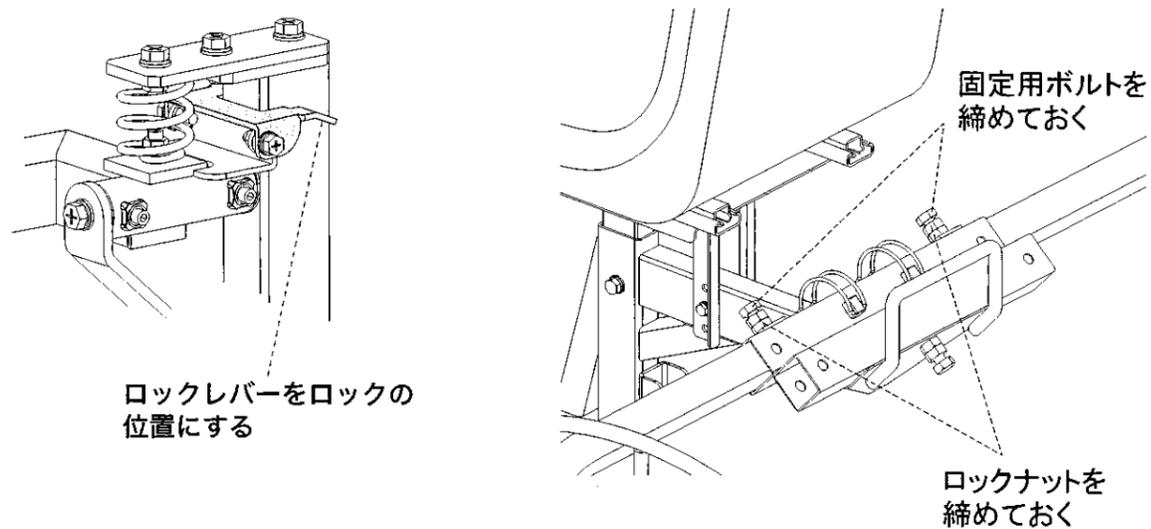


出入りの際はゆっくりとアクセル（スロットルレバー）を操作し、急なハンドル操作はしないでください。できるだけ共同作業員立ち合いで行ってください。  
※転倒の恐れがあり、事故、重傷の原因となります。



出入りの際は、進入路に対して斜めにならないよう、平行に進んでください。  
※転倒の恐れがあり、事故、重傷の原因となります。

- ① 除草部ローリングのロックレバーをロックの位置にして、後輪幅の条間に合った位置で固定用ボルトとロックナット（2ヶ所）を締めておいてください。



- ② ハンドルロックレバーを『ハンドルロック』にします。

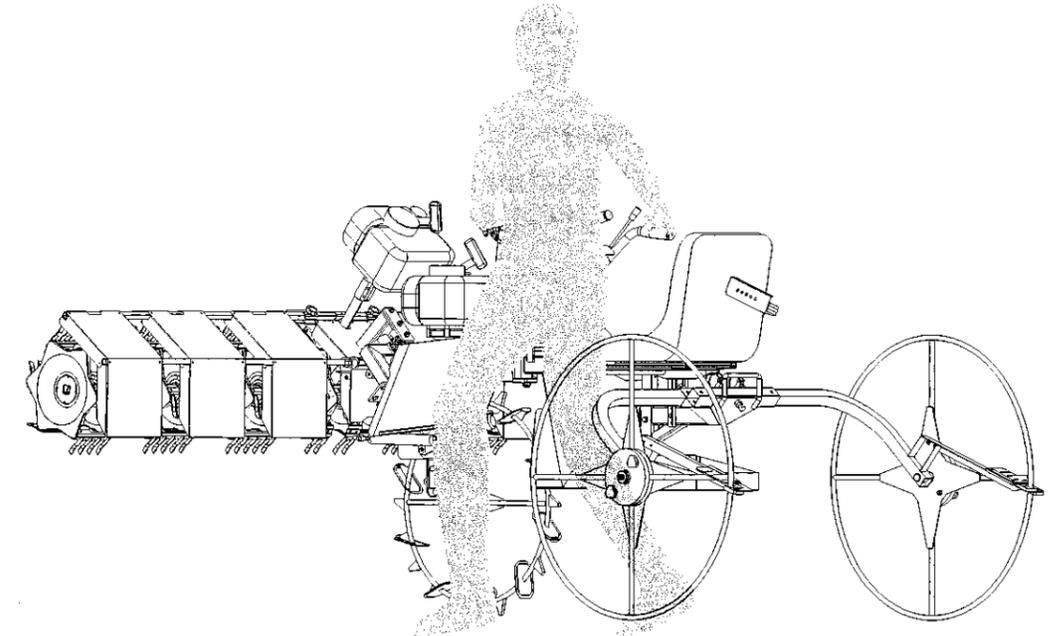
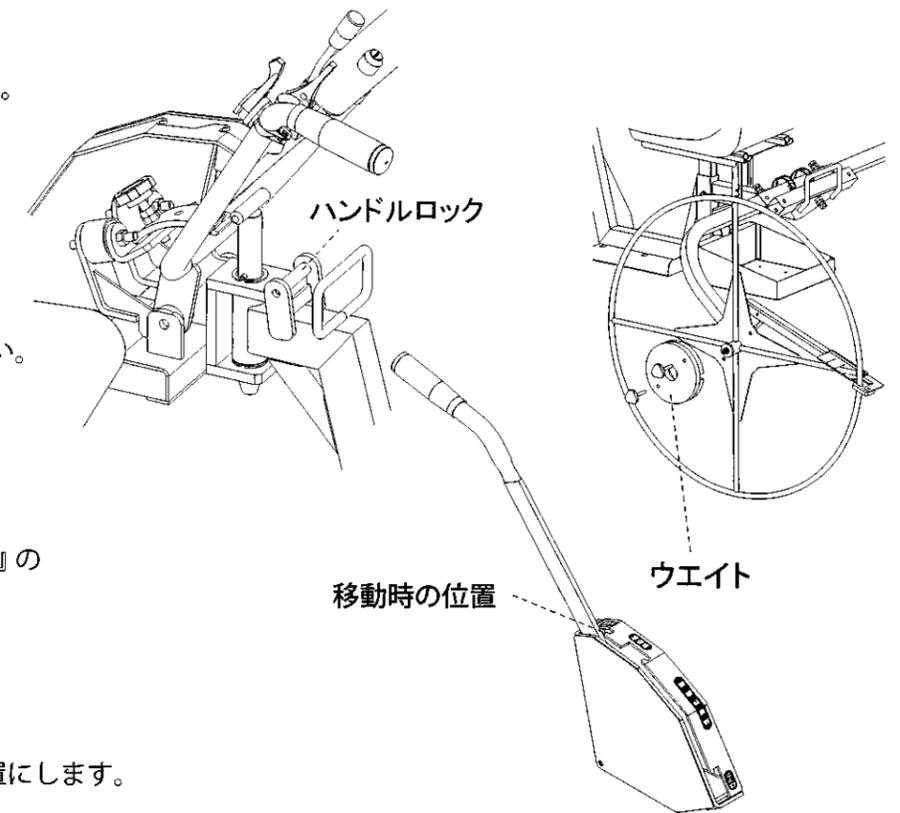
- ③ ウェイトを装着してください。

- ④ 除草部昇降レバーを引いて除草部を上昇させ、『移動時』の位置にします。

- ⑤ 走行アクセルを『遅』の位置にします。

- ⑥ 走行エンジンを始動します。

- ⑦ シートの左側に立ってハンドルを持ち、ゆっくりとアクセルを上げ、安全な速度で圃場進入路に対してまっすぐ平行に進入します。必要に応じてシート後部の物入れに錘を乗せ、バランスを取ります。



- ⑧ 圃場から出る際も同様に、ゆっくり安全な速度で行います。

- ⑨ 高低差があり傾斜がきつい場合は必ずブリッジを使用してください。

## 5. 除草作業

### 警告



除草ローター等の回転部に手や足を近づけないでください。  
※巻き込まれて重傷の原因となります。

### 注意



作業中に異常な音や振動が発生した場合は、ただちにエンジンを停止してください。

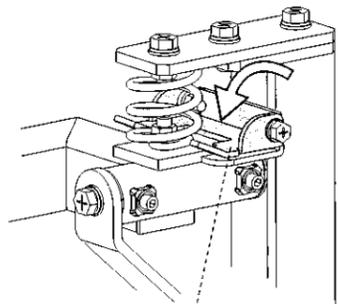
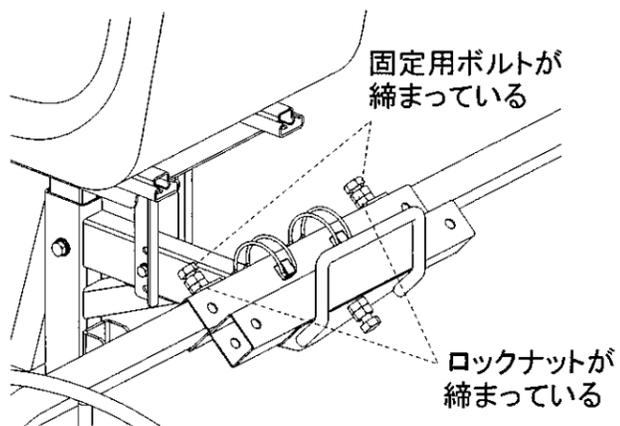


アクセル（スロットルレバー）を操作するときは、ゆっくり行ってください。  
※急に操作すると、急発進して危険です。

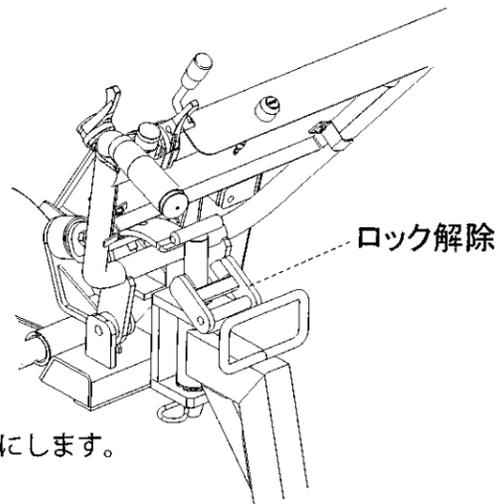
### ■ 始動

① 除草部ローリングのロックレバーを解除の位置に倒して、除草部が自由に動く状態にします。

② 後輪の固定用ボルトとロックナット（2ヶ所）が締まっていることを確認してください。



ロックレバーを解除の位置に倒す

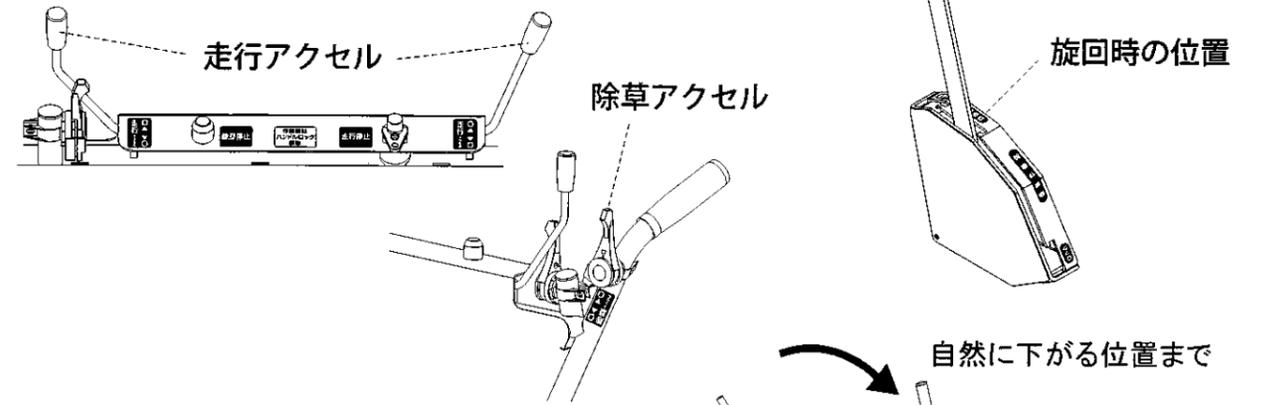


ロック解除

③ シートに着座し、ハンドルロックレバーを『ロック解除』にします。

④ 除草部昇降レバーを引き、レバーを『回転時』の位置にします。

⑤ 走行及び除草アクセルを『遅』の位置にします。



⑥ 走行エンジンを始動します。

⑦ 除草エンジンを始動し、除草部昇降レバーで除草部が自然に下がる位置まで下げます。

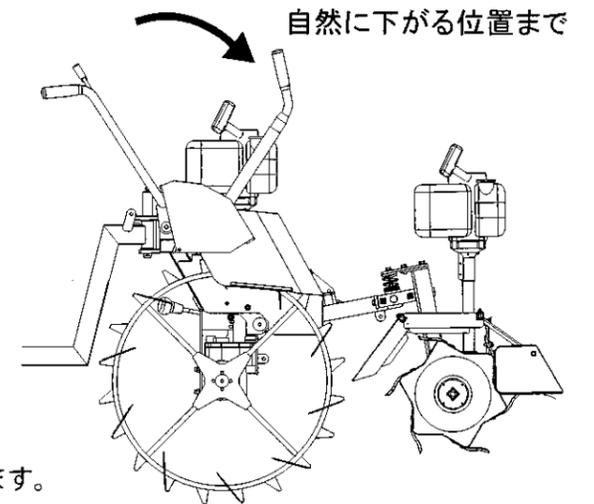
⑧ 除草アクセルを作業回転にします。

⑨ 走行アクセルを『速』の方向に動かしながら発進します。

⑩ 除草ローターの回転と圃場の状態を見ながら、除草アクセルを調整します。

⑪ 少し走行して作業状態を見た後、必要に応じて除草深さ、除草部ローリング強さを調節しながら作業します。

[7頁 参照]



### 取扱いのポイント

- 作業時は必ずハンドルロックレバーを「ロック解除」にしてください。  
※ハンドル操作ができず欠株となるおそれがあります。

■ 旋回

① 圃場の端に近づいたら、走行アクセルを『遅』の位置にし、走行を停止します。

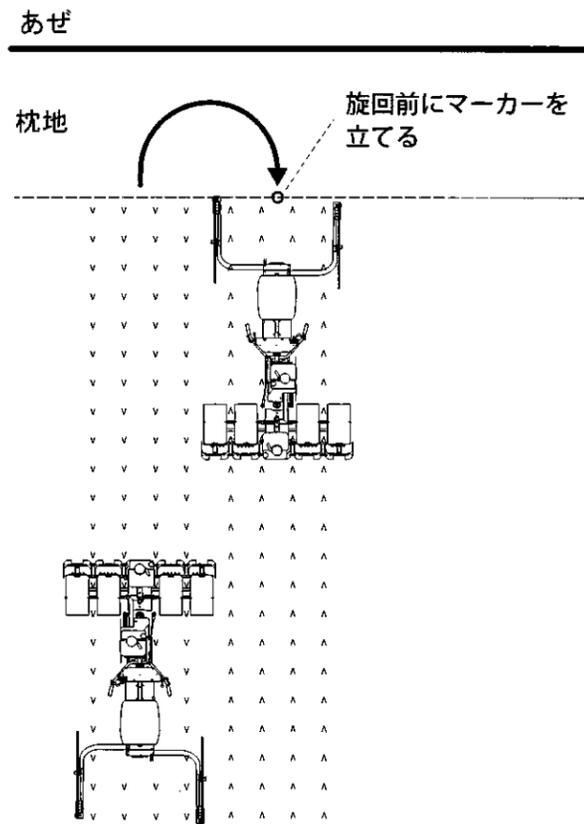
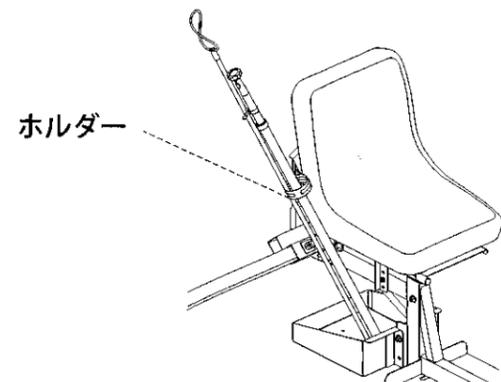
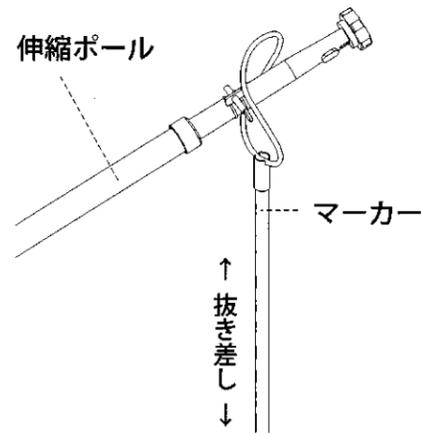
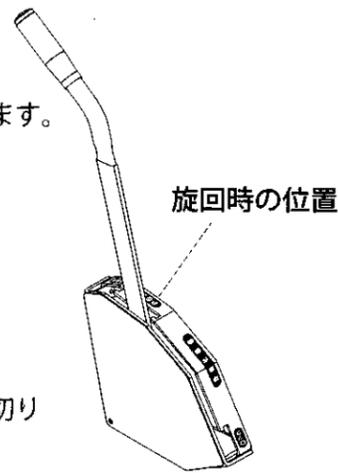
② 除草アクセルを『遅』の位置にし、回転を停止します。

③ 除草部昇降レバーを引き、レバーを『旋回時』の位置にします。

④ 低速で発進する位置まで走行アクセルを徐々に上げ、ハンドルを大きく切り旋回します。

※旋回前に、次に作業する条のセンターに付属のマーカ―を差しておく、目安となります。

マーカ―の抜き差しは付属の伸縮ポール先端に引掛けて行くと、機械から降りずに作業できます。走行中はシート横のホルダーに差しておきます。



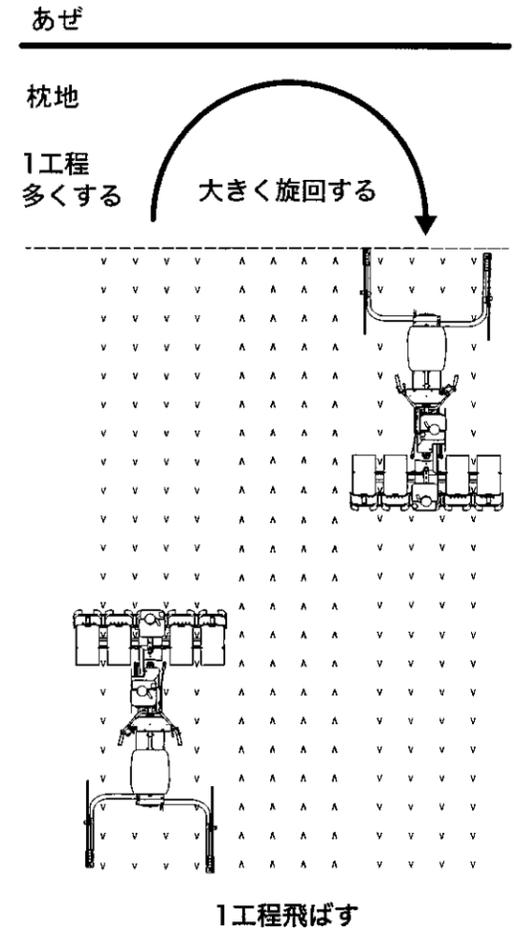
4条植え田植え機使用の圃場

⑤ 除草部昇降レバーで除草部が自然に下がる位置まで下げ、除草アクセルを除草作業の回転まで上げます。

⑥ 走行アクセルを徐々に上げながら発進し作業を続けます。

取扱いのポイント

- 後進はできませんので、枕地で余裕を持って旋回してください。枕地を1工程分多くすると容易に旋回できます。
- 旋回時は苗を踏んで欠株が多くなる場合があります。1工程飛ばして大きく旋回することにより、欠株を低減させることができます。



■ 機械が進みにくい場合

- 圃場条件（泥深い圃場等）や、作業者の体重によっては、機械が進み難くなる場合があります。このような場合は、機械から降り、機械を牽引して歩行にて作業してください。
- 本機は、作業者の体重を 80kg 以下と想定しています。

取扱いのポイント

- 機械が進みにくい条件で無理に運転すると、減速機に負担がかかります。  
※減速機が過度に過熱し、ギヤオイルの吹き出しや、ギヤの早期摩耗を引き起こします。

## ギヤオイルの交換

### 警告



火気厳禁

ギヤオイルの補給は、火気のない場所で行ってください。

※火災の原因となります。



指示

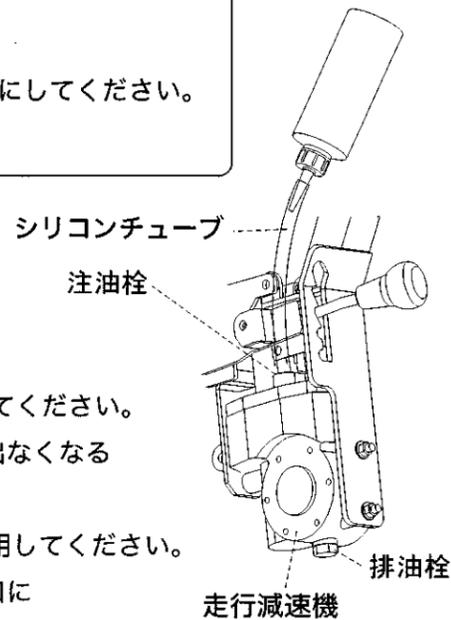
運転直後は減速機が熱くなっているので、行わないようにしてください。

※火傷のおそれがあります。

- 出荷時、減速機にはギヤオイルが充填してあります。

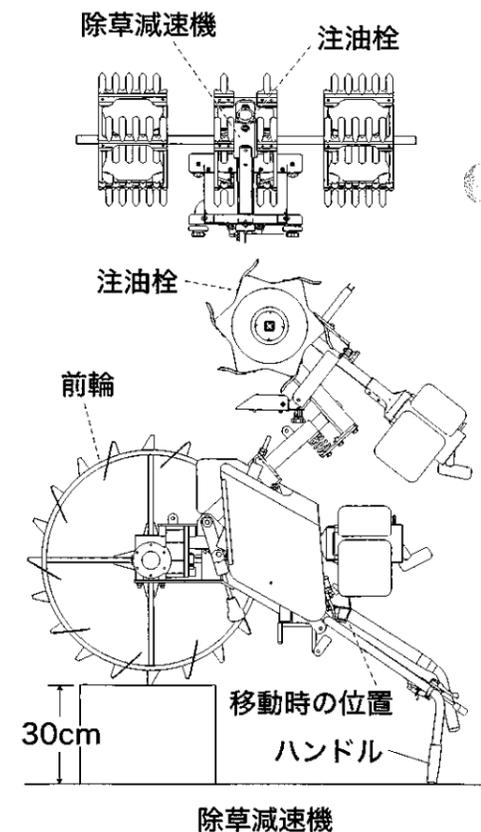
### ■ 走行減速機

- シーズン終了時もしくは10時間作業毎にオイルの交換を行ってください。
- 排油作業は注油栓と排油栓を外して行います。ギヤオイルが出なくなるまで、確実に排油してください。
- ギヤオイルは出光製『スーパーギヤオイル460』を330cc使用してください。
- 給油時は付属のシリコンチューブをオイルボットの口と注油口にしっかりはめて、ゆっくり行います。



### ■ 除草減速機

- 最初のシーズン終了時、または初回10時間作業後にオイルの交換を行ってください。次回から20時間作業毎にオイルの交換を行ってください。
- 注油栓は給油口と排油口を兼ねています。排油は注油栓が下を向いた状態で行います。給油をする際は、分草板、除草ローターカバー、ジョイントより外側の除草ローター・ローター軸を取外し、機械を前後に分割してから行います。除草部走行レバーを『移動時』の位置にし、ハンドルを着地させ、前輪を高さ30cm程度の台に乗せると給油しやすくなります。
- ギヤオイルは出光製『スーパーギヤオイル460』を100cc使用してください。



### 取扱いのポイント

- オイルを長時間交換しなかったり、オイルの量が少ないと減速機が破損します。

## 洗車時の注意

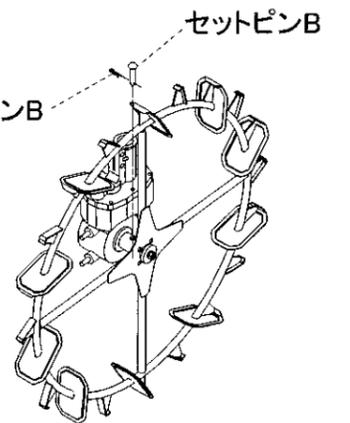
- 機械を洗車する場合は、エンジンに直接水をかけないでください。
- 高圧洗浄機等を使用すると、機械の破損、故障、塗装・メッキの剥がれ、警告ラベル類の剥がれなどを引き起こす場合があります。高圧洗浄機の取扱説明書に従い、正しく使用してください。

## シーズン中の一時保管

- 作業が終了してシートカバー等を機械にかける場合は、過熱部分が完全に冷えてから行ってください。  
※火災の原因となります。

## 長期保管

- 本機各部の汚れを清掃し、錆の発生の恐れがある部分は、油の染みた布で拭いてください。
- 紫外線による劣化・損傷が生じることがあります。直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 来季に備え、各部の点検（19頁）を行ってください。
- 前輪のセットピンBを抜くと回転がフリーになり、手押しで移動ができます。  
※使用時には必ずセットピンB及びスナップピンBを取付けてください。
- ヒンジピンを抜き、機械を前後に分割して保管してください。その際、除草部昇降レバーは『移動時』の位置にしてください。
- エンジンについては、エンジンの取説を参照し、整備を行ってください。特に次の項目は必ず行いましょう。



- ・ 混合燃料が変質するとエンジンが始動できなくなる為、エンジンの燃料タンクやキャブレター内の燃料は必ず抜き取ってください。
- ・ 点火プラグを外して、点火プラグ穴へ（潤滑油）を少量注入します。スタータグリップを2、3回ゆっくり引いた後、ピストンが一番上に来たところで点火プラグを取付け、締めてください。